

大將盛典

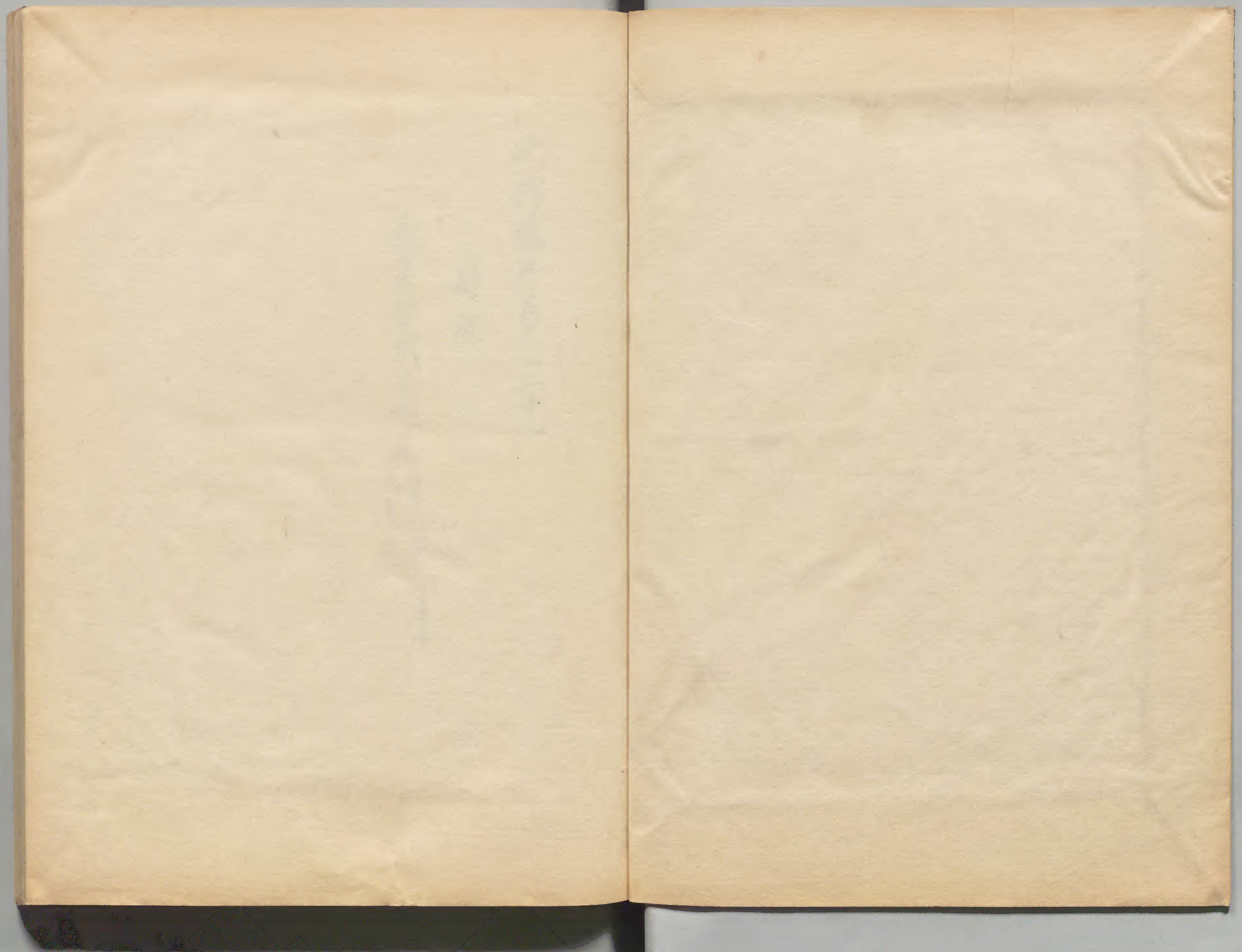
二十一

和書門類		二七八八二號	八五函	一九九冊
------	--	--------	-----	------

內閣文庫		和書類	二七八八二號	一九九冊	八五函
------	--	-----	--------	------	-----

內閣文庫		番號	和 27882
冊數	199	(23)	
函號	153	225	





大猷盛典卷之二十一

目錄

一 稽古習試之部九

寬政度之内習試
上覽之二

大狩盛典卷之二十一

○ 稽古習試之部九

○ 寛政七乙卯年二月十六日

今本寺村出供振高正鹿狩平内為 上覽約場

野口彦為 成以

寛政年録
出使番留書

○ 同年

一二月十六日出鹿狩為 上覽 即成有之口内過約

淺草文庫

塲系口正為 成七吋前 還所 所胎約塲系

前九 所立塲取建 石上惠之系 還所塲

正為 成所老中方若年奇元出側元左之通

所先勒所老中 松平仔豆也

同若年奇元 并修兵部少補

同 立元出雲也

同所側出用出取次 平岡吳濃也

同 林肥後也

所供若年奇元 堀田孫津也

同所側出用出取次 若年奇格 加納遠江也

同所側元 本仁大和也

同出用出取次見習番政格 高井主膳也

植村 氏和

○寛政七乙卯年二月

一十六日曉八時五時方八人同心格七人出笔宮蓋所手前

仙石越前守皮口相搦宮蓋所出下宿口平井孫出

用入之也未梳以候也届中上山受是波也夜明々
六時以山下宿也出外是二舟同心是人附人波也
無程是波也夜出揚也出出在成也二舟山下宿若殘
系之山根附人之同心也作下也有一統同心中若
山下宿也出出也又出纏持思推或人山下宿也
出出居山宿也出纏相渡中所以所刻是波也夜
出揚也出出二舟出先也出纏建地方同心中若出馬
跡也附約揚系也系是二舟也替也見合也出以

氏所也相梳以梳也若是有之也二舟地方法同心中若
氏所也相梳也中是波也夜是系入口也 所見見
有之也氏不也引反在成也四時若 所成二舟地方法
同心中若出番元並之波平伏也 所立揚也也為

成替過也出揚也始平均 上覽有之也若若度進退
有之也 上覽也海而刺 還所也若出性組出書
院大也番也順也 所成道筋道也故下橋近門取津田
層代也出番也附是愈監物也屋漏月同勢揚也也

引取其上高右友人去仙石皮屋安引取殘之仲分
 間同心中去仙場分進之道玄坂下橋分宮益町通
 仙石皮屋安引取中引取仲間同心中去不殘
 還清以弟組屋安引取八町邊被降乞山寺波寺夜
 出供之者去 作成以弟友急監物皮屋安引取具
 居中

山書院番頭淺野
 去之波寺與力苗書

○寛政七乙卯年二月

一 十六日於釣場野出鹿将平均乾 上覽共力八人同心
 招八人出供之存出山共力野相織襟下附股引半天
 共用同心對相織股引 但小頭色替 没羽織長 曉八町被公宅集場
 宮益町仙石越前寺下至補上曉七町以共又分山番
 取方下宿上大人保八右衛門同心寺人右連孫越勝田
 安藤寺友家来呼出進江寺友山南組共力同心
 相揉山屋書舟を以屋之役未程山寺之承知之由
 一 右集場暫扣孫左山寺又山寺附以淺野寺波寺夜分

共力之由は場口相傳由由は達有之由は共力同心共
由場所也所は存在也

一 田内之由場口は為 成也 所は場口は為

入也若果有之平均始 上覽相傳由由也不

浅野之波有也引取は成也由由跡は尚組

共力同心由場引散也波有也去歩初傳子因勢

引拂場及也監物屋敷引取は成也尚組共力同心

監物屋敷引取は成也波有也持之外道筋込合也二付

見斗高仙石越前守屋補正存越前組退散之後

浅野之波有也引取は成也由由途中は相方

由番引取は成也相勅引取は成也同心使は書面を以

由屋中

一 集場は存在也由由那代方至り高由城は下也二付

為傳取同心小隊は成也由由赤版紙包は共力同心

人数は指六人分相渡中は並進江守成は成例に通

腰刀並高支度分家来分共は由渡有之也

内書院番取中坊
近江守與力重書

○寛政七乙卯年二月十六日

一 今六半時出供採高野場野上江為 成申中別

云遊 還所

一 出供場因提津_三殿 所先上松平侍豆_三殿并侍兵部

少補殿立花出雲_三殿出越_三成_三

一 建部大和_三及組共室領_三長書及組共内及侍織及

組共明七時以夜防周懐_三及至補_三成_三

一 明六時出出方宮蓋町下陣惣助方_三出越有之

一 六半時過道云板高_三出赤阪_三約基_三入出方_三

組下陣_三茂持運_三

一 六半時過徳向出場_三録込_三六半時過所駕籠

出注進_三無程 所立場_三為 入出場初九時_三

出場未海先達_三而_三出書_三舟_三通北_三道_三不_三根_三田

安藤_三抱_三至_三補_三方_三引_三取_三

一 出頭方_三經_三持_三口_三所_三宮_三蓋_三町_三而_三百_三姓_三傳_三取_三之

也持組
西書

○寛政七乙卯年

一二月十六日六甲内抵高松於約場所一統解子奉均

上覽_{乙卯}

右虎持習試 上覽_{乙卯}

勅方

一今十六日於約場所也虎持習試 上覽有之

乙卯年宮益町_{乙卯}六甲相抵於下宿去宮益町橋際

百姓七左衛門方相抵組去也石越_{乙卯}下至浦口

相抵也目方方_{乙卯}不殘相抵也_{乙卯}組_{乙卯}者_{乙卯}也_{乙卯}連

也_{乙卯}又_{乙卯}案_{乙卯}内_{乙卯}未_{乙卯}得_{乙卯}存_{乙卯}在_{乙卯}未_{乙卯}成_{乙卯}也_{乙卯}贈_{乙卯}方_{乙卯}分_{乙卯}持_{乙卯}系_{乙卯}取_{乙卯}去_{乙卯}抵_{乙卯}

折_{乙卯}入_{乙卯}在_{乙卯}下_{乙卯}組_{乙卯}者_{乙卯}紙_{乙卯}包_{乙卯}也_{乙卯}在_{乙卯}下_{乙卯}並_{乙卯}也_{乙卯}也_{乙卯}礼_{乙卯}也_{乙卯}後_{乙卯}去_{乙卯}

也_{乙卯}目_{乙卯}方_{乙卯}に_{乙卯}三_{乙卯}上_{乙卯}同_{乙卯}情_{乙卯}也_{乙卯}中_{乙卯}達_{乙卯}格_{乙卯}也_{乙卯}中_{乙卯}上_{乙卯}也_{乙卯}不_{乙卯}及_{乙卯}也_{乙卯}

事

一倭_{乙卯}更_{乙卯}了_{乙卯}成_{乙卯}出_{乙卯}雲_{乙卯}了_{乙卯}成_{乙卯}兵_{乙卯}部_{乙卯}少_{乙卯}補_{乙卯}成_{乙卯} 所_{乙卯}先_{乙卯}也_{乙卯}相_{乙卯}越_{乙卯}也_{乙卯}

一組_{乙卯}も_{乙卯}同心_{乙卯}も_{乙卯}刀_{乙卯}去_{乙卯}去_{乙卯}也_{乙卯}也_{乙卯}善_{乙卯}光_{乙卯}寺_{乙卯}前_{乙卯}築_{乙卯}田_{乙卯}三_{乙卯}右_{乙卯}衛_{乙卯}門

組共力角場は指差刀番同心寺人宛名並申

一 五内は此目方分安内有之は右供去松平安藤守

層補は右並此場内在越組は石残屯所並是

頭去二娘松は下高 此目見仕系馬之被高例

元指是有之早速致系馬屯所は在越又分

此相是有之此規定之通無滞相海八内前

先達向達書之通引取申

一 組共力同心姓名書左之通去掛は此目方石門

將監は去在場所共力同心共入教斗度申達

申

卯二月十六日

於為場所督試 上覽之而共力同心

出勅姓名書

三上同情組
共力

下清權右衛門

林唯左衛門

近及基四郎

堀田権四郎

金子部右衛門

大和田平太夫

権右衛門俾見習

下宿権左郎

同心

田口要助

堀越武左衛門

新井字平次

服部幸八郎

高橋平次郎

糸賀喜之助

新井勘兵衛

田中安右衛門

田中弥一玄衛

奥平全左衛

長崎七五郎

上野侍右衛門

河田友八郎

長田右衛門

芥沢千茂

山下幸右衛門

水野兵助

星野清右衛門

横田清右衛門

羽生宇右衛門

福田又左衛門

高橋友三郎

高橋誠八郎

松崎文右衛門

後田恒右

杉浦長門守組加人同心

大野孝助

小峯八郎右衛門

中股孫大吏

平井豊三郎

後閑鴫 茂

和

須田新惣次

山本伴藤吉組

共力

秋山嘉左衛門

山本茂左衛門

古屋又四郎

神谷大伴

大森茂左衛門

深戸忠左衛門

井上八郎左衛門

淡名長助

同心

浅見宗左衛門

寺田兼右衛門

中村幸右衛門

曾根半六

久山長茂

上原常八

吉井小十郎

秋田友右衛門

三浦八郎善清

笠井半茂

沃田吾右郎

平井綱吉

渡邊龜左郎

大河内佑左郎

増井孫三郎

三浦孫惣右衛門

三浦長三郎

荒川虫吉

角田市郎左衛門

高松孫五郎

榎野重次

佐久間陽茂

吉岡源義

三浦政吉

田中左傳次

杉浦長門守組

加人同心

金子和吉

中津林右衛門

江原源七郎

浅井孫十郎

友間伴八

相

高橋軍次

仙石右近祖

共刀

佐友文義

依田大助

西十郎左衛門

葛山平左衛門

木村隆助

文彦輝見得

佐友猪三郎

同心

戸言龍左衛門

山中新平

山中軍八

増田長右衛門

中務左衛門

馬場勘左衛門

石川仁十郎

大石辰十郎

塚田平三郎

三宅惣吉

田村文五郎

奉間依右衛門

鈴木左源右

戸高源之助

田中幸右衛門

保坂清三郎

日渡幸八郎

今井福三郎

渡邊吉右衛門

酒井惣右衛門

仁杉武右衛門

黒沢昌助

山岸源次

吉村安左郎

松本孫三郎

堀三左衛門組

共刀

松井吉右衛門

西田順右衛門

阿部伊右衛門

松井左仲

矢野玄助

同心

大野重左衛門

加茂兵左衛門

下條三郎右衛門

小林右左衛門

山出佐右衛門

長岡久之三郎

羽高惣右衛門

大西源三郎

佐々木全右衛門

内茂安右衛門

小川六右衛門

阪田平八郎

宮村源助

橋元全左衛門

小川要助

橋本源十郎

三ヶ湾友七

山川二十郎

田淵茂左衛門

芝野芳太郎

森田善茂

星野留吉

長谷川勝三郎

山田急茂

兼沢兵茂

倭沢内記組

共力

岸忠三郎

廣川助左衛門

根岸八三助

相淵善八郎

黒沢樵右衛門

猪飼信右郎

佐宗元五郎

横井小三郎

彦右郎見習

森多沢永三郎

忠三郎見習

山岸岩右

因心

田中伴七郎

冬木幸八

山本重右衛門

角田小八郎

樋口弥十郎

秋庭安玄清

菅橋又左衛門

福井甚玄清

加茂友右衛門

伴後小左衛門

中務清茂

近後成右衛門

石井文左衛門

竹濤忠茂

小宮山後四郎

江間左衛門右衛門

山本重三郎

板倉安右衛門

加後勇茂

光後源七郎

高田兼右衛門

小林茂左衛門

蟹江三郎左衛門

吉田清玄

山口平左衛門

内田十郎

吉田茂十郎

坪庭政茂

榎本勘十郎

永山佑助

加茂源之丞

佐友源茂

永山岩茂

荒井勘次

迫友十右衛門

杉本右十郎

朝比奈林茂

菊地十之丞

松本嘉之丞

板橋孫之丞

小池三右

中野松五郎

沃田佐五郎

片山助三郎

水野若狭守組

共刀

杉本隆助

服部金三郎

河田佐五郎

服部重五郎

小坂唯右衛門

杉本四郎左衛門

安友茂十郎

笹倉梁右衛門

左九郎将見習

忌本庄助

全三郎将見習

服部八十右

北右衛門将見習

河田忠助

梁右衛門将見習

笹倉頼之助

同心

福原右衛門

細井左衛門

西村權四郎

秋庭要右衛門

松井重右衛門

松本孫五郎

長谷川重右衛門

萩野重右衛門

山田右衛門

新井嘉十郎

渡邊兵衛

笹井左衛門

鈴木興一右衛門

松本恒八郎

深沢甚五郎

岩田孝五郎

別所大右衛門

有永新吾

梶谷源右衛門

大池仙之助

久保田茂吉清

能辨建左衛門組

加人同心

福海清次郎

横地良助

田中換藏

篠原菅吉清

大須領新吉清

芥沢文藏

松平舍人組

共力

小倉源吉清

小林勝藏

丹羽景四郎

高月源八郎

同心

石田甚多右

松平新左衛門

竹内源三郎

西宮茂次郎

内田友右衛門

石川久之丞

秋元甚十郎

池田共左衛門

山口甚次郎

繁田三丈

山田景茂

中村武右衛門

神谷四郎左衛門

三本伴右衛門

小林源茂

安友友之助

西原清次郎

补谷勘次

中清伊左衛門

二見伴茂

三浦吾茂

八代牛右衛門

平岡安右衛門

高田登助

岡部利左衛門

牧野藏部祖

共力

林共左衛門

右部甚十郎

山上安右衛門

阿部權三郎

共左衛門伊見留

林又左衛門

恩

花井幸左衛門

石井虫右衛門

石渡只右衛門

廣瀬文次郎

齋 左右衛門

堀江久左衛門

那須田清助

杉本捨六郎

戸松小平次

山田孫 玄清

六笠傳 茂

持田幸次郎

荒井平次郎

山本幸右衛門

岡本宇 玄清

比留間全平

西森彦五郎

杉山右五郎

野村富三郎

山本多吉郎

横井友次郎

山本政吉

孫十郎代侍
坂友三郎

久左衛門代侍
堀江八右郎

武右衛門代侍

毛利源次郎

松平左全吾退

共力

蜂須賀次左衛門

手塚四郎五郎

平井左右衛門

木村根助

次左衛門侍見習
蜂須賀丈三助

四郎五郎侍見習
手塚虎五郎

目次

西村兵右衛門

源沢友茂

平尾一徳

新井勇八

小平幾右衛門

林甚太郎

小崎虎吉

渡村文太郎

高須儀八

八谷甚平左

横田要助

相山甚茂

田中仁八郎

横井清太郎

小林岩茂

明石長太郎

小池多右

平井友七

大澤栄茂

石田勝茂

小幡傳茂

相田安斎

横井友五郎

山口友三郎

宮野孫茂

市墨丹後守組

共力

岩崎孫左衛門

小井孫次郎

小柴友十郎

吉田金十郎

同心

金子楯右衛門

辻友八郎

竹原右左衛門

笠井七之助

長山安次郎

篠原仁右衛門

市場貞右郎

迫彦新平

能勢兵三郎

若山子源之助

伊豆勝右郎

岩下源四郎

小川甚玄衛

古原全右郎

山口十茂

夏目平三郎

杉本十左衛門

山口榮茂

市川金三郎

児玉半右衛門

大竹忠次郎

中津兵平次

白坂八郎六郎

畠田金三郎

石山椿三郎

竹系松次郎

夏田三馬組

共力

坂塚仁三郎

依田佐助

村田富五郎

秋月歳五郎

同心

茂野要助

市野幸吉

小村幸右衛門

森 金茂

山口及右史

梅澤清助

小川換左衛門

松沢基三郎

系 庄 助

清水先 助

八木田傳十郎

磯野理右衛門

中村若五郎

星野文 茂

市川金 助

山崎安次郎

竹田基三郎

佐々清九郎

小池市 云清

山崎武左衛門

垣沼甚三右郎

石塚伴左衛門

阪塚三右郎

彦坂九左衛門
共刀

小笠原理右衛門

吉村八左衛門

関屋治右衛門

矢部六左衛門

迫及吾左衛門

三宅新右郎

遠酒右衛門 伴見習

小林勝次郎

左内 伴見習

天野三郎右衛門

及左衛門 伴見習

中村源右郎

同心

矣田權右衛門

川崎久次郎

中山勇 藏

村山源右衛門

丹羽興玄清

渡邊重左衛門

萩原林右衛門

権名平次郎

田熊忠次

倉知安次郎

小清水之丞

小林治十郎

吉田依玄清

村田茂右衛門

磯貝兵衛

長崎富方郎

杉江七右衛門

篠崎了意助

柳田三平

岡根卯左郎

辻 元玄清

水野長左衛門組

加人同心

松尾友左衛門

市村吉次郎

松門傳之助

渡邊勇右衛門

青木嘉一郎

和

白石文次郎

以上

山光寺
方元福

○寛政七乙卯年二月十六日駒場野山鹿狩平均 上覽有

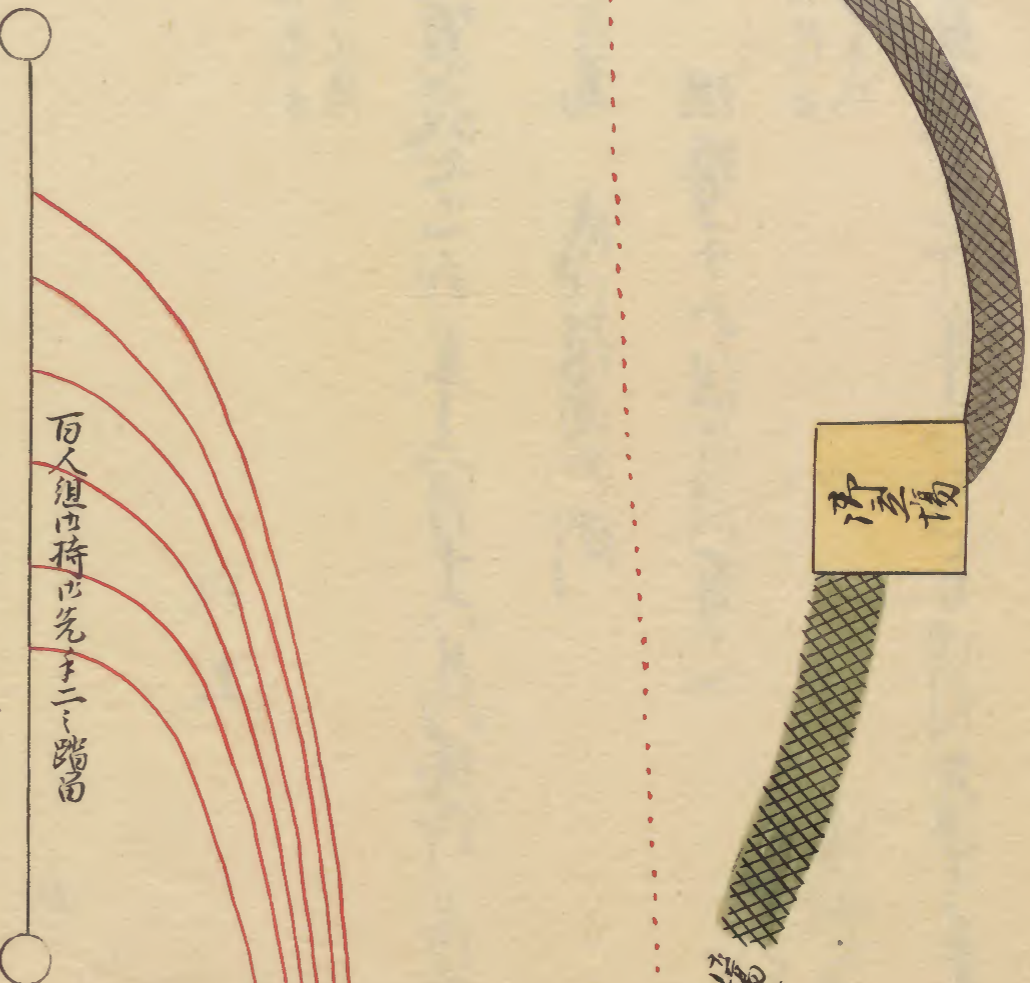
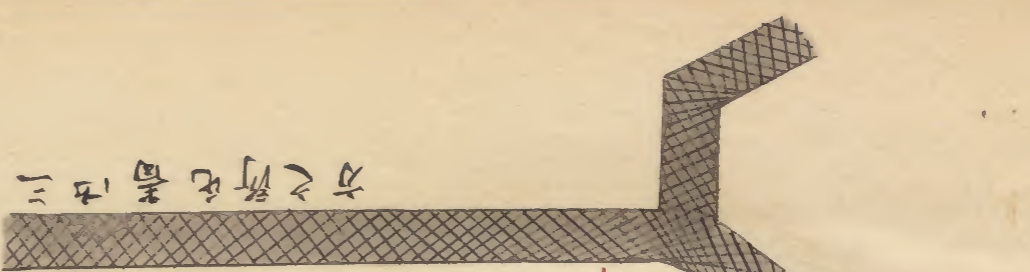
正為 成世夜高必例

但辨子八組出沒有之

山光寺
延年記

○寛政七乙卯年二月七日山月舟中各来

駒場野山鹿狩平均 上覽之而之圖

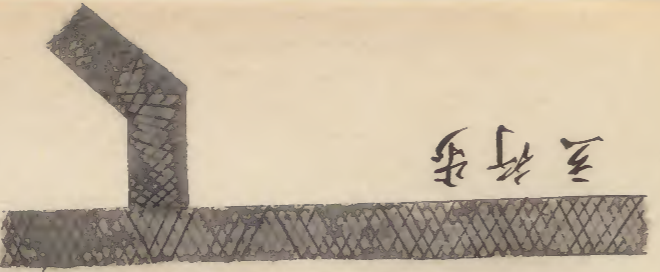


追征騎馬
本門之通
所向後立切
是亦按以
造立切宗
通未定
造立切宗
通未定

追征騎馬
本門之通
所向後立切
是亦按以
造立切宗
通未定
造立切宗
通未定

五行步

一 驅馬
二 驅馬
三 驅馬
四 驅馬
五 驅馬



下九
新度自踏踏回上五加新
平枕之(一)加(五)加
以平枕不殘破若引四板
紋交也
取引四板板及也

百人須出持出先手二踏留

追征騎馬
追征騎馬
百人須出持出先手
追征騎馬
追征騎馬

百人須出持出先手二踏留
追征騎馬
追征騎馬
追征騎馬
追征騎馬

一 驅馬
二 驅馬
三 驅馬

追征騎馬
追征騎馬

新度自踏踏回上五加新
追征騎馬
追征騎馬
追征騎馬
追征騎馬

山光寺方記録所圖

以上賜

上覽尚日勒方

